

銀漢亭日録



伊藤伊那男

4月4日(月)▼広渡敏雄さん、銀行時代の仲間で六人。発行所「かさゝ俳句勉強会」あと十三人。二十二時半、閉めて「大金星」。店の井上さんと日本酒の話など。

5日(火)▼店、佐藤文香さん、小学館から出版の新著『俳句と遊べ』を持って来てくださる。中に「俳句に興味のある成人の方は神保町の居酒屋「銀漢亭」に行ってみては。マスターが伊藤伊那男さんで、店の奥で句会が行われていることも……」の記載あり。対馬康子さん。あと文弘さんなど。カウンター賑わう。文弘さんより、いわき「丸市屋」の魚貝類の乾物セットいただく。盤水先生がよく土産に使ったものと。

6日(水)▼店、「ささらぎ句会」あと九人。てる緒さん復帰。「宙句会」あと十一人、などなど。帰宅したら桃子も丁度同窓会から戻ったところで、四方山話で少し飲む。

7日(木)▼「十六夜句会」あと十人。

8日(金)▼毎日新聞・城島徹さん。駒ヶ根出身の共同通信社論説委員の伊藤祐三さんと。伊藤さん、小中高の私の後輩。駒ヶ根応援団でもある。漫画家の本間康司さんと三人。九州大学のOB俳句会の方々、句会あととて八名程で寄って下さる。

9日(土)▼成城仲間から京洛西の朝掘り筍四本到来。錦市場「かね松」の特上品。食べないからと廻ってきたもの。処理が面倒だからかもしれない……。宮澤のゴルフコースイギリス賞の筍も。下拵えきをし、出汁も取って、あとは娘に任せて麹町区民館へ。「銀漢本部句会」五十一人。あと中華料理店にて親睦会。家、杏一家来ていて、筍パーティー。若布と炊き合わせたものを贈り主に届けたと。

10日(日)▼筍ごはん、筍の穂の汁などの朝食。終日家。エッセイ書きなど。夜、家族揃い、筍と若布炊き合わせ。筍ご飯。明日葉のお

19日(火)▼予約客の少ない日。十八時半、北辰社の決算打ち合わせ発行所で。店閑散。洋酔さん。二十二時閉める。

20日(水)▼「三水会」四人と淋しい。青柳飛さん、前米国俳人協会会長リー・ガーガさん、ジャパンタイムズの前選者デビット・バーレさんと。武田花果さんも加わって下さる。

21日(木)▼太田うさぎさんアルバイトに入ってもらう。割烹着と白いゴム長のコスチューム。「銀漢句会」あと二十人。長崎の坂口晴子さん参加。

23日(土)▼「伊豆吟行会」。踊り子号にて伊豆高原駅。四十名。大室山、城ヶ崎海岸。泊まりは熱川温泉「ホテルカタラ」。私には露天風呂付きの部屋を用意してくれる。部屋で二次会。

24日(日)▼九時、近くの「熱川バナナワニ園」思いの外面白い。戻って昨夜提出済の句の披露。十三時前の鈍行にて熱海。十数名で蕎麦屋に入り、延々酒盛り。肴旨し。つつい……。

25日(月)▼二日酔い、気持ち悪くて起床。十四時、文化放送「ゴールデンラジオ」の私を取り上げてくれたコーナー「ザ・ゴールデンヒストリー」を聞く。何やら気恥ずかしく。店閑散。二十二時閉める。

26日(火)▼十二時から三越劇場にて映画「うみやまあひだ」の上映と宮澤と伊集院静さんのトークショー。坂口晴子、半田けい子、松代展枝さん、伊那北高校の先輩など来て下さる。鉄の芸術家クマさんの奥様と挨拶。戻って「萩句会」選句。店、山崎祐子、土肥あき子、杉阪大和さん。閑散。二十二時閉めて一人「大金星」で小酌。

27日(水)▼「雛句会」十二人。堀切君、フランス留学時の友人と。日下野由季さんなども。青柳飛さんと「天為」の方々。久々繁忙。二十二時閉めて「ふくの鳥」で飛さんを囲む。

29日(金)▼六月号の選句稿は、昨日手渡し、郵送したもの、選評、添削などは出来ず、資料と原稿用紙を持って十一時の特急あずさに乗る。三日間ほど信州へ。快晴。新緑の山々が鮮烈。甲斐駒、八ヶ

ひたし、トンカツなど。

11日(月)▼発行所校正、編集会議。「月の匣」水内慶太氏と編集委員の方々。閑散。敦子、小石さんと「大金星」。

12日(火)▼「火の会」私を入れて九人。他、閑散。

13日(水)▼九時四十五分予約で、先日の健康診断の結果を聞く。血糖値やや高く、甘い菓子禁止。塩分も控えて、運動を！と。胃カメラ、大腸カメラも勧められて検査予約。この際調べます。「梶の葉句会」選句、十四人。店、てる緒さんがバナラを連れて来店。二年前、鈴木家に移籍したヨークシャテリア。店暇だったので四時間ほど遊んでいたか。ローストポークと人参の食事きれいに食べて帰る。

14日(木)▼週末の行事用に娘二人から頼まれて、ローストポーク、鮑酒蒸しなど仕込み。店、松代展枝さん誕生日にて聞きつけた有志集まり、カウンター賑わう。他は閑散。熊本で地震発生。亮介君、水疱瘡。華子のヘルペスが移った模様。

15日(金)▼井上弘美さんから到来の句日記『顔見世』を開くと銀漢亭が二回顔見せ。(なかんづく銀漢亭の瓜膾)(六月二十八日)「蔵本を銀漢亭に新走り」(九月二十七日)。武田禪次句集『留守詣』出来上る。店、藤森莊吉さんの「問句会」七人。

16日(土)▼京都の和田ちゃんより京の筍到来。湯がいて送ってくれる。家族は学校仲間の国領別宅の竹林の筍パーティーへ。私は次女の三男の一歳誕生会へ、高井戸。鮑の酒蒸しなどを土産。そのあと十八時、日暮里本行寺の「月の匣」創刊六周年の記念祝賀会に山田真砂年さん他とゲストで。あと西日暮里のカラオケスナックで二次会。二曲歌ってしまふ。岐阜の若山さん鶴岡の小萩さんなど久々。

18日(月)▼「演劇人句会」八人。「天為」「秋」の青柳飛さん、米国から二週間帰国。飛さんはアメリカ俳人協会の会長に就任。小川洋、宗一郎、小石さん他、「天為」の方が駆けつける。龍正君に水疱瘡飛び火。

岳は山頂に雪を残す。小淵沢にはまだ桜が！従兄の家に着くと次のもので酒盛り。煮いかと胡瓜の酒粕和え、帆立貝の紐の煮付け、干し椎茸の含め煮、筍と身欠き鯉と山椒の葉の煮物、独活と若布の酢物、わらび、ごめのおひたし、するめと数の子の麴漬け、キャベツと塩いか……ああ、信州である。

あと、「焼鳥ママ」。吉川雅治、田中昇さん来てくれる。あと毎日新聞の城島さんに教えてもらったニッカバー「河」を訪ね、小田切さんに挨拶。もうすぐ開店五十年になるという。この小さな町でウイスキーを売って半世紀は凄い！いい顔である。生家跡を訪ねてみる。今は遠い親戚が住む。酒が廻って食欲中枢が麻痺したのかファミレスでハンバーガーライス食べてしまふ。ホテル「ブレモント」泊。カッブラーメンを食べようとお湯を沸かしたところで寝てしまふ。食べなくて良かった！

30日(土)▼八時起床。快晴。タクシーで産土神の大御食神社(通称美女ヶ森)を参拝。従兄弟の家にて朝食。伊那まで送ってもらう。喫茶店「門」にて添削教室を書く。十三時半、伊那市駅に井蛙さん迎えに来て貰い仲仙寺へ。見事な山寺で、南アルプスの眺望絶佳。美すずの大野田さんの家で夕食。酒盛り。二十二時就寝。

5月1日(日)▼六時起床。原稿少々。朝食。登山の昼食用意。天気良好。九時、杖突峠近くの登山口に武田さん他七人と合流。諏訪の神居山・守屋山登拝。往復四時間。新緑が眩しい。あと前宮、神長官守矢史料館、本宮を巡る。建御柱前の熱気が籠る。御柱の穴を掘っている。宿は「かんぼの宿諏訪」。眺望絶佳。登った守屋山も見える。諏訪の神々の話に盛り上がる一夜。

2日(月)▼五時起床。温泉。五時半発。春宮、秋宮、木落し坂を巡る。木落し坂の急角度を上下から見て絶句。寝かされている八本の柱も見る。宿に戻って朝食。部屋にて三句出しの句会。家の予定あり、あずさにて帰宅。